

学校だより

氷丘の風

加古川市立氷丘中学校

2022. 5. 29～31

修学旅行 特集号

3年生は、5月29日から福岡・長崎方面へ修学旅行に行きました。実行委員会を中心に生徒が話し合って約束事を決め、スローガン『Peace&Smile～青学年で繋ぐ「平和」のボタン』のもと、「学び」・「絆」・「感謝」を意識して、充実した2泊3日を過ごしました。青学年ならではの趣向を凝らしたプログラムもたくさんありました。ご覧ください。

【1日目】

姫路駅で出発式

添乗員さん、写真屋さんとあいさつを交わしました



新幹線に乗り込みいよいよ出発です



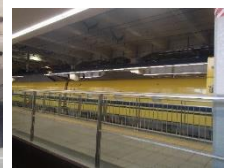
最初で最後の宿泊行事 楽しそうです



荷物もきちんと整列



博多駅到着 ガイドさんの案内でバスへ移動



となりの線路には
幸運の
ドクターイエローが

3日間お世話になるバスと

バスガイドさん「よろしくお願いします！」



昼食は有明海の干潟を眺めながら



朝早くから用意してくれて
ありがとう

説明を聞いて、ガタリンピックが始まります

カラフルですね！

しかし、この後どうなりますやら



始まりました クラス対抗競争です

綱引き



金銀銅メダルを目指して全員で競争です。もう、誰が誰だか！



1泊目のホテル

「にっしょうかん梅松鶴館」到着



お待ちかね！ 夕食です
郷土料理を中心としたメニューです



夕食後は、「R1 グランプリ」

会場が1つになって盛り上がった笑顔の時間でした。勇気をもって出演してくれた人、ありがとう



【2日目】

朝食です
しっかり
食べました



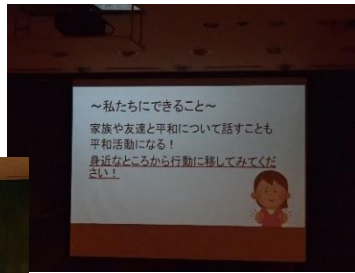
さすが3年生
常に集合がスムーズです
前に人が立つと全員が自然に注目して
プログラムが始まります

原爆資料館

どの学校より真剣に見学していました。これまできちんと事前学習をしてきたのがよくわかりました。自分の目で見て、感じて、メモをとりながら学びを深めました。



交流証言者 松山 咲さんの講話をお聞きました。自分たちと歳の近い高校生の平和への思いや行動力に心を打たれました。



お礼に花束をお渡ししました

↓クラスごとに「平和宣言」



2年生の時から練習してきた「クスノキ」の合唱。気持ちのこもった素晴らしい歌声でした。感動しました。これが氷丘中3年生の力ですね。

↓爆心地等をガイドさんの説明を聞きながら見学



皆、真剣に話を聞いています

折り鶴奉納



リボンには、Peace&Smile ～青学年で繋ぐ「平和」のボタン～と記しました



↓バスで移動して和泉屋で昼食。名物の「皿うどん」もいただきました。



お腹一杯になったら、タクシーで班別研修に出発です。



運転手さん、よろしくお願いします

心配された雨があがりました。ラッキーです。

運転手さんの案内で、効率よく見学できました。運転手さんとのコミュニケーションも学習の一つです。



時間どおりバス駐車場まで
送ってもらいました



2 時間半、バスで移動し、2 泊目のホテル「ヒルトン福岡シーホーク」へ。

ホテルが見えてきました。ガイドさんの出してくれた「到着時刻予想クイズ」に、1 分違いの人も。惜しい！



夕食は「テーブルマナー講座」を兼ねたフランス料理のフルコース。

緊張しながらも、どれも一流ホテルの味で大変おいしかったです。次第に笑顔になっていきました。

テーブルマナーは、お互いが食事を快適に楽しむためものだと教えてもらいました。周囲への思いやりです。



銀のナイフ、フォーク
外から使います



姿勢も教わりました



スープはすすらず、
音をたてないで。

徐々に上手に
なってきました



おやっ？
デザートを持ってきて
くれたこの人は？

食事が終わり、先生たちからのサプライズプレゼント。
各先生と誕生日の近かった人 よかったね。



ガタリンピック
の表彰式です



金・銀・銅
メダル授与

【3日目】

朝食は、バイキング。味も量も◎。



ホテルからの絶景ともお別れ
バスで大宰府へ向かいます

大宰府到着 参道を歩きます



御祈禱のあと班ごとに散策です



旅行最後の食事は、
ジンギスカン食べ放題



紙エプロンをつけて



アサヒビール園から博多駅まではすぐです。

お世話になったバスガイドさん、運転手さんに感謝の気持ちをお伝えして、お別れをしました。



ついに九州を離れます



時間の短い
広島駅乗り換えも
協力し合って、
スムーズでした



お土産が増えた
帰りの荷物も整然と

「学び」「絆」「感謝」どれも達成できました。学年の先生の思いが生徒たちに十分伝わり、実行委員会を中心に、全員で成功させた修学旅行でした。最初で最後の宿泊行事、きっと深く心に刻まれたものになったと思います。